

病棟の小さな改善から始める “やりっぱなし”にならないプロジェクトマネジメント —褥瘡・転倒・せん妄を看護の現場から変える—

- 日 時: 2026年6月6日(土) 10:00~12:00
- 方 法: オンライン (Zoom)
- 参加費: 無料
- 言 語: 日本語
- 申し込み: 以下の【申込URL】あるいは、こちらのQRコードを読み取り必要事項をご入力ください。
【申込URL】<https://forms.office.com/r/fVyP4f7q1i>
- 申込メ切: **6月1日(月)正午まで**



JBI gLOCAL Solution Room

・このイベントは、臨床現場でエビデンスを実践するための課題に対して具体的な解決策を提供することを目的として、2026年6月1日から7日までの7日間、世界各国で同時開催されます。

・臨床現場において「エビデンスに基づく実践や教育」が求められています。その必要性はわかっている、日常の実践にどのように取り入れていったらよいのか、そもそも「エビデンスって何?どのように使うの?」と思われる方も多いのではないのでしょうか。

・大手前大学インプレメンテーションセンターでは、エビデンスを臨床で取り入れ、日々の実践で使うとはどのようなことなのかについて、EBP (Evidence-Based Practice) の考え方、実際の取り組み事例を紹介し、組織的に取り入れていくことについてお伝えします。

PROGRAM

時間	内容
10:00-10:05	開会挨拶
10:05-10:25	JBI紹介・基調講演 「小さな改善が現場を変える: 病棟QIとプロジェクトマネジメントの基本」 講師: 大手前大学インプレメンテーションセンター ディレクター 西村 直子先生
10:25-10:40	「転倒アセスメントの精度を高め、行動観察を取り入れた改善」 パネリスト: 石島 志保先生
10:40-10:55	「せん妄は見逃されている: 予測・予防・早期介入の仕掛け作り」 パネリスト: 谷口 真璃奈先生
10:55-11:00	休憩
11:00-11:20	パネルディスカッション ファシリテーター: 西村直子先生 指定発言者: 笠松由利先生 パネリスト: 石島志保先生 谷口真璃奈先生
11:20-11:40	グループディスカッション
11:40-11:55	Q&A
11:55-12:00	閉会挨拶 アンケート依頼

PANELISTS

谷口 真璃奈先生 医療法人早石会 早石病院 看護師

石島 志保先生 千葉大学医学部附属病院 看護師長

ご質問等がある場合は、以下までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

国際看護研究所 (大手前大学インプレメンテーションセンター事務局)

ignosaka@otemae.ac.jp